

住まいと暮らしの情報紙

第1134号

2007年(平成19年)

8/10
▼
8/16

週刊タイムス住宅新聞

30年の実績と信頼

軍用地専門

「まかせてよかった」そのとぎのみに...
有限会社 開南コーポレーション
〒902-0073 高松市上野197-2
TEL 098-855-4141



撮影/高野生優・フォトアートたかの

周囲をさとうきび畑が囲むTさん宅。伝統的な赤瓦屋根に似た形の屋根となっている

サトウキビ畑の小さな家

お住まい拝見

Tさん宅

サトウキビ畑が広がるのどかな風景の中に建つTさん(40)宅は、1階をピロティとし、2、3階を居住スペースとした3階建て。ざざわわ、ざわわ」と音をたて揺れるサトウキビの風景が楽しめ、室内からつながる大きな屋根の下のテラスは、家族や来客を交えパーティーができる住まいとなっている。

CONTENTS

- 01 お住まい拝見
- 04 住まいのお金
- 05 トピック
- 05 業界通信
- 08 ひと
- 作って遊ぶ 夏休み企画
- 空飛ぶオモチャ 竹とんぼ
- 09 うまんちゅトーク
- コラム・うちのーの風景
- 11 わたしのこだわり空間Rooms
- 12 Pick Up
- 県内マンショントレンド
- 20 作って楽しいDIY
- 21 見てある記
- 23 ちんたいスクランブル

発行 株式会社 株タイムス住宅新聞社 毎週金曜日発行
(一部地域で木曜日発行)
〒904-2234 沖縄県うるま市州崎7-14 TEL 098-934-1122(代)
TEL 098-934-2287(編集部) FAX 098-934-6677
http://www.jpss.co.jp E-mail jyuutaku@jpss.co.jp



2階ダイニングからの眺め。室内とテラスがつながり、サッシを開ければさわやかな風が入ってくる

譲り受けた農地に、住宅を建てることになったTさん。「当初は、ほかに土地を探したり、マンションの購入も検討しましたが、子どもの進学の見込みを見て、家を造るうと、3年前に決意しました」と振り返る。

夫が共に思い描いたのは、白を基調として、昼間は電気を付けずに過ごせる風通しの良い住まい。「いざれ夫婦2人になる。家の広さよりも、将来的にうまく使えるようにしたかった」と夫人。設計は仕事を通して知り合いだった建築士に依頼。「沖縄の新しい住宅を造りたいという強い思いでの仕事ぶりを見ていたので、信頼しておりました」。

サトウキビ畑に囲まれる敷地。建築士が出した案は、1階をピロティとし、2、3階を居住スペースとした3階建てで、周りの緑を見渡せるプラ

ン。「限られた予算以上はかけられない。本当に3階建てで造れるのか心配でした」。完成した3階建ては、ダイナミックなこう配のある屋根の形状が通りを行き交う人の目にも楽しませる住まい。柱や梁以外は、コンクリートブロックとサッシで壁面を構成。2階はテラスを囲むように、LDKや和室があり、3階が寝室と子ども室となっている。

「玄関ではなく、来客はテラスから声をかけてくることが多いんです。テーブルセットを出して、お茶したり、パーティーしたり、もっとテラスを活用したい」と夫人。「青空や夜空は間接照明で雰囲気良く演出して、くつろいでいます。今後は植栽を増やしていきたい」とTさん。秋には周囲がサトウキビの花で覆われる景色を楽しみにしている。

お住まい拝見 (Tさん宅)

テラスでパーティー

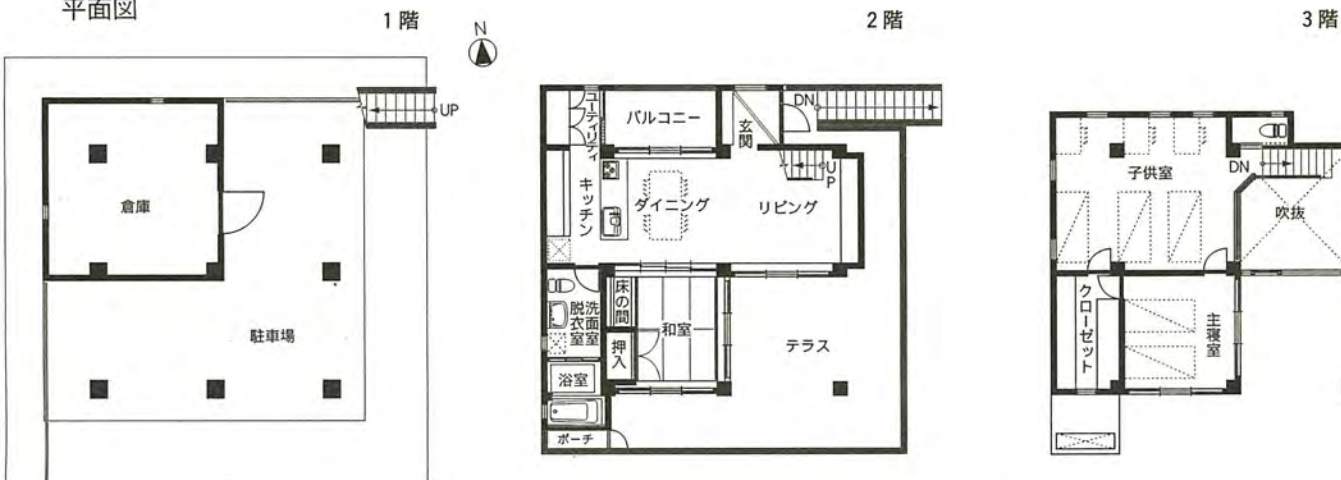


屋根に覆われたテラスは、室内と一体的になった室外のリビングルーム



リビング。壁面はコンクリートブロックやガラスで、ローコストで仕上げた

平面図



データ

家族構成：夫婦 子ども3人
 敷地面積：500㎡(約150坪)
 1階床面積：57.26㎡(約17坪)
 2階床面積：69.98㎡(約21坪)
 3階床面積：44.04㎡(約13坪)
 建ぺい率：18%(許容60%)
 容積率：28%(許容200%)
 用途地域：無指定
 躯体構造：RCラーメン構造
 設計：team DREAM 福村俊治 具志好規
 構造：西建築設計事務所 西伸介
 施工：(株)創建設 宮城信次
 電気：(有)美光電設 渡辺稔
 水道：(有)ライフ工業 我喜屋奨

テラスの使い方 & 夜の表情



みんな一緒にワイワイにぎやかに

設計者の福村さんは「家で家族や友人らが集まって、バーベキューをしたり、お酒を飲んだりして、楽しむことはとても重要。昔の沖縄の住宅はアマハジがあり、庭があり、集まれる場があった。大人が楽しむだけでなく、子どもにとっても小さいうちから、多くの人とコミュニケーションできる点は、子供の教育、将来にとっても重要」と話す。ダイニングやリビングなど家の中だけで集まるのではなく、外の空間でも心地良い光や風を感じ過ごせるのは沖縄ならではの良さだ。



室内の明かりが家の外灯

テラスに向けて設けられたガラスや窓は、昼間は室内に光と風を取り入れ、夜には逆に室内の明かりで建物をライトアップしている。

写真/team DREAM

3人の女の子で仲良く1つのスペースを分けた子ども室



LDK。吹き抜けに面する3階は子ども室となっている



サトウキビ畑の中に、2階建てとすると、建物が埋もれ、生活も息苦しくなってしまうことから、地面から1層上げて、3階建てを提案。予算も限られ、Tさんには、シンプルな構造・間取り・色・屋根で、実現可能という点を理解してもらいました。

亜熱帯で年中暖かい沖縄は、外でも気持ちよく過ごせます。そこで家族の団らんや、親類・知人などが集まって楽しめる場として、大きな屋根がかか

サトウキビ畑の中に、家族の快適な暮らしを提案した設計者の福村俊治さん。設計では、住宅で沖縄の街の新しい風景をつくることにも挑戦した。

快適つくる裏方さん

住宅から街の風景づくり

る半戸外のテラスを設計。そのため、子ども室や寝室は小さく、みんなが集まるテラスやリビングを広くとっています。

2階を生活のメインフロアとしたことで、風通しも良くなり、周囲のサトウキビ畑の緑の表情も楽しめ、1階には約8畳の倉庫も確保できました。

昔の赤瓦木造住宅は、個性的な建築デザインもなく、大きな方形の赤瓦屋根とアマハジだけで、周辺の風土に溶け込み、美しい景観をつくりながら、快適な暮らしができた。

Tさん宅は、ピロティ、テラス、大きな屋根をもち、台風や塩害にも耐久性がある厚いペンキ塗りとした鉄筋コンクリート造としています。

その上、現代的な沖縄の美しい景観をつくりながら、沖縄の素晴らしい自然を享受できる、機能的で美しい空間づくりを目指しました。

浴室のわきには光が差し込む坪庭も



洗面・脱衣室。その先はガラスで仕切る浴室



ユーティリティー・キッチン・脱衣室と続く

